

令和7年度 第1回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会議事録

開催日時：令和7年7月4日（金）午後1時30分～午後2時57分

開催場所：KTX アリーナ 2F 会議室3

出席者：村 良弘委員、岩田正武委員、西浦達郎委員、高橋 伸委員、
山田尚代委員、櫻澤弘章委員、安藤善啓委員、植島禎一委員、
横山史明委員 委員計9名
高田教育長 松本教育部長
事務局

欠席者：なし

傍聴者数：なし

教育長あいさつ

委員長・副委員長の選出

江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により村 良弘委員を委員長に選任し、委員長の指名により岩田正武委員を副委員長に選任。

議題

- (1) 運動部活動の地域展開に関する推進委員会設置の経緯及び実行部会設置について
- (2) 地域クラブ活動試行実践の進捗状況と課題について

会議資料

- 資料1 江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会設置要綱
- 参考資料1 地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議レジメ
- 参考資料2 江南市運動部活動地域展開 推進計画
- 資料2 令和7年度江南市地域クラブ活動試行実践実施状況
- 参考資料3 令和7年度部活動参加者状況
- 資料3 運動部活動の地域展開の推進における課題
- 資料4 江南市地域クラブ活動参加者募集チラシ（案）
- 資料5 江南市の運動部活動地域展開について（お知らせ）（案）
- （参考）令和8年度2学期からの休日の学校運動部活動の地域展開・地域クラブ活動開始に向けての意向調査（案）

議事内容

議題（１）運動部活動の地域展開に関する推進委員会設置の経緯及び実行部会設置について

○事務局

資料１、参考資料１、参考資料２により説明

本日の第１回推進委員会は、令和７年７月１日施行の資料１「江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会設置要綱」に基づいて、ご参集いただいた。参考資料１では、国が設けた「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」ワーキンググループの議論の中で、学校部活動から地域クラブ活動への転換を地域全体で連携して支えていくことを明確に表すため、「地域移行」の文言を「地域展開」に変更していくこと等を取りまとめられた。

江南市では、この内容を踏まえて、地域展開を推進していくとともに、運営主体を見直し、事業の委託先が決定するまでの間、市が運営主体となることを反映させた、参考資料２「江南市運動部活動地域展開推進計画」を令和６年度第３回検討委員会で承認をいただいた。

このことから、「江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会設置要綱」の、名称と一部改正を行い、国の方向性との整合をつけた。

今年度は、市の目標である令和８年２学期からの休日の運動部活動の地域展開の直近年度となるので、委員の皆様からご意見を頂戴し、議論を加速させて、目標を実現していきたいと考えているので、何卒ご協力お願いしたい。

続いて、実行部会の設置については、要綱第７条第１項に「実行部会を置く。」と規定しており、この実行部会は、改正前は「作業部会」の名称であったが、地域展開について、より実働的に具体的に諸課題等を検証して、推進委員会へ素案を提出していくよう、名称を改めて「実行部会」として機能的な役割を持たせていきたい。

同条第３項の部会の組織として、委員名簿のとおり委員を委嘱している。

部会長として、教育部長を充てるほか、教育・行政機関関係者及びスポーツ団体関係者としている。

今後、議論を進めるうえで実行部会に、委員の皆様からの必要となる資料作成、情報収集等をお願いし、具体的に調査及び資料作成の依頼等をいただくよう、よろしくお願いしたい。結果については、第７条第６項に基づき、推進委員会へ報告をしていく。

○委員

推進委員会と実行部会の２つの組織で、今後どのような方法で課題の議論を進めていくのか。推進委員会での議論を実行部会におろしていく形となるのか、また、実行部会で検討した事項を推進委員会で承認等をしていく形となるのか。推進委員会と実行部会の立ち位置はどう考えるのか。

○委員

昨年までは、検討委員会で決めたことを作業部会に送り、さらに細かいことを議論してきた。今年はどうのように変わっていくのか。関係性はどのようになっている

くのか。

○事務局

昨年度までは、検討委員会で決めたことを作業部会におろして検討したが、案件に対して修正等までの議論ができていなかったと聞いている。今年度は、推進委員会と同様の案件を実行部会で協議していく。実行部会で話し合い、練った案を推進委員会に挙げていく。実行部会で細かな協議を行い、できた案を推進委員会に挙げて承認をしていただく。承認された件について教育委員会へ報告をしていく、という形を取りたいと思う。

○委員長

推進委員会の中で、是非、実行部会で検討、調査して欲しいということが出てくれば、その案件も実行部会におろして、資料等も含めて、再度、推進委員会に挙げていくという考えで良いと思う。

別の件で確認だが、推進計画の中にある教育委員会の役割として「検討委員会の開催」との記載については、今年度から「推進委員会の開催」と読み替えていくということによいか。

○事務局

要綱の附則に令和7年7月1日施行で「検討委員会」から「推進委員会」に名称変更しているため、読み替えてご理解をお願いしたい。

○委員長

議題（１）は、この程度として、次に議題（２）に移る。

事務局から説明をお願いしたい。

議題（２）地域クラブ活動試行実践の進捗状況と課題について

○事務局

資料２、参考資料３、資料３、資料４、資料５、（参考）により説明

資料２は、現在実施中の試行実践の状況をまとめたものである。

今年度の試行実践は１０種目の実施を予定していたが、サッカーは参加希望生徒が少なく、指導員と相談のうえ、現在は実施を見合わせている状況である。

資料上段は各種目の活動場所、活動日時等を記載しており、下段は、６月２１日現在の参加人数及び指導員数をまとめた。

参加希望者は、想定５２０人を下回っているため、現在も随時受け付けている。

なお、下期からの参加を周知するため、学校を通して再度募集チラシの送付をしていく。

参考資料３は、令和７年度の学校別の生徒数と学校部活動の運動部・文化部全体の参加者状況をまとめている。令和６年度の人数と対比も付したので、ご参考としていただきたい。

資料３の運動部活動の地域展開の推進における課題については、これまで開催された委員会の中で、その都度報告をして議論してきたが、令和５年度から実施して

きた試行実践の中で、アンケート等を通して生徒・保護者・指導員等から出された未解決な事項と本格的な地域展開を進めていくうえでクリアしていくべき課題をまとめた。

参考資料2の推進計画の中で、諸課題を踏まえた推進体制として、教育委員会及び市立中学校の役割と取組みをまとめたので、資料のそれぞれの項目について説明したい。

1 生徒の多様な活動の創出

江南市の地域クラブ活動は、気軽に運動や競技を楽しむ、持続可能な「生徒の居場所づくり」としている。学校の部活動種目に無い種目や試行実践種目に無い、挑戦したい希望種目の選定や、多種目への参加、いわゆるマルチスポーツによる生徒の可能性の発見等、多様な活動の受け皿としていくことの検討も必要となる。

2 持続可能な社会活動の創出

学校部活動から地域クラブ活動への展開のために「地域の子どもは地域で育てる」という観点を、市内の各種スポーツ団体や企業、教育機関に浸透させ、指導員派遣、練習場所の提供等のサポートをお願いして、協力・連携していく体制づくりを検討していく。

3 指導員の確保と育成

教員が指導している学校部活動とは異なり、地域クラブ活動では面識の無い地域の方が指導することが増える。これまでのアンケートの中でも、指導員の人柄、指導能力が分からず不安であるという声が多く寄せられた。今後、学校部活動ではない地域の活動となるため、そのような不安を軽減するための方策をとる必要がある。市では、指導員に対して、モラル遵守、事故対応、適切な指導方法等の研修を実施していく計画をしている。また、兼職兼業で市内外の教員を指導員としてお願いしている種目もある。

なお、地域クラブ活動では、過度な勝利志向や競技力向上に特化した指導等、主旨に反する指導は厳に慎んでいただくよう、周知徹底していく必要がある。

4 地域クラブ活動の大会参加

大会の参加はどうなるのか、という声も多く聞いている。令和8年の夏の大会までは学校単位で、それ以降は地域クラブ活動単位での参加を予定している。成果発表の場となる大会参加を楽しみにして活動していることと思うが、中体連の方針について不確定の部分が多いため、情報収集に努めていくとともに、生徒・保護者に対して、明確に情報提供していく必要があると考えている。また、中体連主催の大会だけでなく、民間等が主催する大会についても情報収集していきたい。

5 地域クラブ活動についての周知と理解促進

地域クラブ活動展開については、学校を通して児童生徒と保護者、各学校の運営協議会委員に周知を図ってきたが、まだ理解が十分でない点について、これからの委員会等での検討の進行状況により、お知らせをしていきたい。

また、小中学校教員の中でも地域展開についての理解が不十分であると感じている。この取組は、教員の働き方改革の一環であることも鑑み、学校及び教員にも円滑な推進のために共通理解を図るとともに、十分な協力をお願いしたいと思っている。

市の方針として地域クラブ活動は、市内5校の合同として拠点校にて活動をしているが、活動校への移動の負担が大きいとの意見もいただいている。来年度からの本格実施に向けて検討すべき重要な課題と思う。

なお、生徒の健康管理のうえで、昨今の猛暑による熱中症の心配、怪我や事故の対応については、指導員間で危機管理の研修の実施や、緊急連絡網の整備も進めていく必要がある。

6 受益者負担の範囲

試行実践は、国からの補助と市費により運営、実施している。なるべく保護者負担を減らし安価とするため、負担として1回500円の参加料のみをいただいている。活動に参加するため、受益者負担をしていくこと及び現在の負担額には、おおよその理解は得ているが、種目ごとに必要となる用具等の差や今後の活動の推進をしていくための財源について検討していくうえで、負担増の可能性もあることも周知していきたいと考えている。

これらの課題については、実行部会で議論、検討をして、対策についてまとめた案を推進委員会に報告をしていく。

資料4と資料5については、5月9日開催の委員会で、委員からご意見をいただいた下期に向けての参加募集チラシと保護者に向けて地域展開についての周知文書の修正案を作成した。

運動部活動の地域展開に関する江南市の取組や進捗については、これまでも、機会を捉えて児童生徒、保護者に周知を行っているが、これまでのように文章として周知するのではなく、視覚的にトピックのように見れるものを、というご意見を反映して、修正した。

この資料3から5について、実行部会に提出し、ご意見をいただいた後、再度修正を加えて次回の推進委員会に提出する。

なお、本日の推進委員会終了後、令和7年度第1回実行部会を開催するので、各議題について同様の説明をしていく。

本日追加で参考として提出した令和8年度2学期からの休日の学校運動部活動の地域展開・地域クラブ活動開始に向けての意向調査の案については、実行部会で意見をいただくこととしている。なるべく簡単に答えていただく調査としたいと考えている。意向調査項目について、修正、追加等、推進委員の皆様からも7月15日火曜日までにご意見をいただきたくお願いしたい。

○委員

試行実践の状況について、実施予定としていた日の中で、実施できなかった日の理由を教えてください。

○事務局

実施できなかった主な理由は、天候が雨天であったためである。

○委員長

学校の予定もあるため、代替日の設定も難しいと思う。屋外種目は、雨天であれば中止となり回数が減る。

参加料の1回500円の徴収の精査も行われるということでよいか。

○事務局

今年度は、参加した日のみ参加料をいただくこととしているため、実施しない日の分は徴収していない。

○委員

雨天の場合以外で、ソフトボールはまだ1回も実施できていない。その理由は何か。

○委員

今年度ソフトボールは土曜日で予定が組まれている。これまで、土曜日は学校が予定を入れ、日曜日は地域クラブで使用する事としていた。バッティングを避ける様、予定を組んでいたが、既にソフトボールの指導員の予定で土曜日に設定されてしまったという状況があった。

○事務局

試行実践の予定を組む段階で、指導員の都合と学校の都合を聞いた上で、第1・3土曜日で予定を組んだ。その中で、ソフトボールは学校部活動の活動日とバッティングしてしまい、生徒の選択で学校部活動を優先されたため、地域クラブ活動への参加がない状況となった。

学校では、既に予定が入っており対応が難しい状況であった。できれば、後期からでも学校に配慮いただきたいと思う。

また、先程の実施できない理由の中で、天候によるものと併せて管内大会の日と重なるため実施できない日もあることを付け加えたい。

○委員

様々な課題をクリアしながら、進めていかなければならない。指導員のこと、大会のこととかを調整するのも実施することも大変である。実施できていない種目のことも課題である。これらのことは試行実践を実施しているので分かった課題である。今後、それを生かして運営していければよいと思う。

現在の参加人数について、事務局としては適当と思うのか、まだまだ受け入れが可能とするのか、見解を教えて欲しい。

○事務局

予算では500人程度を見込んでいるが、現在はその半分くらいの参加人数となっている。さらに周知し、随時受け入れをしていきたい。

○委員長

試行実践ということで部活動と並行して実施しているので、会場の問題も出てくる。この点は中学校でも協力できるよう話して行って欲しい。試行実践は続けていく必要があると思う。

○委員

現状、部活動がある状態で学校側に調整を求めるのは難しい。地域クラブ活動側で調整をした方がよい。保護者としては、部活動か地域クラブ活動かどちらに参加したらいいかを問われたら、部活動と答えざるを得ない。

○委員長

目標の令和8年2学期からは、休日の部活動がなくなるので、会場の問題は解消されるが、試行実践の段階では両方が並行して行われるので互いに歩み寄って、試行実践を続けていくことが大事だと思う。

○委員

雨天等で中止の場合の連絡は、どのようにしているのか。

○事務局

連絡については、部活アプリを採用しており、そのアプリを利用して種目ごとに指導員から参加者に連絡が可能となっている。また、出欠の確認にも活用している。

○委員

試行実践の募集を今後も随時案内していく、ということでよいか。

○事務局

現在も随時募集と受付を行っている。

○委員

先程の部活アプリから事務局にも諸連絡が入るのか。

○事務局

事務局は部活アプリの中の総括部分で、全ての種目の確認ができることになっている。

○委員

参加料の支払いは2か月に1度されるが、生徒の遅刻や早退の管理の対応、出欠確認等、指導員の指導以外の業務チェック機能はあるのか。

○事務局

出欠の確認はアプリを利用して行っているが、当日出席簿により毎回確実に出欠をとって確認している。遅刻、早退の判断基準はないので、活動に参加をした場合は参加料をいただくということで統一している。

○委員

参加料の支払いの際の振込手数料はどうなるのか。

○事務局

参加料の支払いは2か月分の参加回数を確認して、保護者宛てに納付書を郵送して支払いをお願いする。振込手数料は発生しない。

○委員長

今年度は市が事務局になるため、納付書による納付をお願いする。今後、市以外の団体等が委託先になれば、方法も違ってくると思う。

○委員

費用の徴収について、別のアプリでもできるものがあるので、部活アプリとの比較検討を含めて、よりスムーズでコストのかからない他の方法を実行部会でも協議して欲しい。

○事務局

行政の関係部署とも相談して検討していきたい。

保護者や事務局の負担軽減について解決できたらよいと考えているので、いろいろ情報をいただきたい。

○委員

意向調査については、今回のみの実施なのか、今後も実施する予定か。

○事務局

今後、最低年に1回は調査したいと考えている。令和8年2学期からの地域展開が始まって、いろいろな意見や考えの変化が出てくると思うので、意向調査は実施したいと考えている。

○委員

中学生のニーズを把握する意味で、地域クラブ活動では学校の部活動と同じ種目を選んでいいのか、違う種目を選んでいいのか、を聞く質問を入れて欲しい。子どもたちのスポーツの選択の仕方と向き合い方が分かるとニーズがより把握できると思う。

○事務局

中学生向けの質問の中に入れていきたいと思う。

○委員

意向調査は小学校6年生にも聞く予定であるが、調査の前に対象となる小学校6年生に部活動の地域展開の説明をする機会があるのか。知識がない場合に聞いても回答が難しい。詳しい情報が事前に伝わるとよいと思う。

○委員長

これまでに、小学生の保護者向けにアンケートをとり周知もしているが、まだ不十分に感じるかもしれない。

○委員

昨年度、市内の中学校入学説明会に事務局が出向いて、スライドを利用した説明も実施している。今年度もそのような周知をしてもらえれば伝わるのではないかな。

○委員

説明のタイミングの問題で、その様な説明があった後のアンケートの方が効果があると思う。説明を聞く前にアンケートをすると戸惑いがあるかもしれない。

○委員

保護者には、まだ令和8年2学期から部活動が完全に無くなると思っている方もいる。平日はこれまで通り学校で部活動を行い、それに加えて休日は地域クラブ活動が行われるということを明確に説明していかなければいけない。

○委員

言葉の使い方で、原則、休日は学校の部活動は行われません、その代わり休日は地域クラブ活動が実施されますということを、生徒に伝わりやすいキーワードを作って知らせた方がいいかもしれない。

○委員

周知のチラシの中の言葉は、できるだけ分かり易い言葉で表現して欲しい。また、子どもが自由に選択できるような社会をつくっていかなければいけない、という意味で自由という言葉を入れ込んだ表現にして欲しい。

○事務局

実行部会において、この案について検討して修正していく予定である。

○委員

周知の中で、地域クラブ活動を進めるメリットとして、教員が子どもと向き合える時間が増えるという内容については、進学という意味のみにとられる等の誤解を受ける可能性があると思うので、別の表現に変えた方がいいのではないか。

また、費用負担について、種目によって備品が個人負担の物、共有の物とがあると思うが、その区別や管理はどうしているのか。

○事務局

現状は、活動場所の学校にある備品等を可能な限り使用させていただいている。消耗品については事務局から提供している。学校と事務局との話し合いの中で進めている。

○委員

今後に向けて、消耗品や会場利用料について、現在の価格や料金を明確に分かる様に出していった方が、保護者が負担額の見当をつけやすいのではないかと。値上げを考える場合の資料にもなる。必要な経費もあることを保護者に分かってもらいたい。

○委員長

今は試行実践という段階で、なるべく負担を少なくして、学校にも協力をしていただいている。本格的に地域展開が進んでいく中で、種目によっては学校以外の施設を利用して活動をすることも考えられる。そうなれば、自己負担額が増える可能性があると思う。現在は事務局が市であるが、今後、仮に他の団体に事務を委託していった場合は、当然そのような負担額の変更もあるのではないかと。思う。

○委員

活動するうえで、気候の問題等、安全管理はどのように考えて対応しているのか。

○事務局

指導員とは、細目に連絡を取り、生徒の安全に対しての一般的な注意喚起をお願いしている。また、緊急連絡網を作成し、何か問題が生じた時にすぐに保護者、事務局に連絡できるよう対応している。

○委員

来年度以降、種目によって参加費は変わっていくのか、また、補助金等を利用して据え置くのか、早目に方向性を出していく必要があるのではないかと。私は、中学生までのスポーツは子どもにとって機会等は公平につくるべきであると思う。参加費についても、どの種目でも同額である方がよいと考えている。

○事務局

今年度の試行実践の中で、消耗品等の予算について種目ごとに支出を検証して、来年度以降の参加料について検討していきたい。事務局で数字が掴めたら、推進委員会、実行部会に報告していく。

○委員長

ご意見ありがとうございました。本日の委員会での協議はこの程度としたい。
次のその他について、お願いしたい。

○事務局

委員の皆様には、本日の議事の正確な公表のため、事務局にて調製後、ご確認いただくので、よろしくお願いしたい。

また、本日の議題について実行部会でも協議し、次回の推進委員会を8月5日午後1時30分から予定するので、ご参集願いたい。

○委員長

長時間に渡り熱心にご議論をいただき感謝申し上げます。

これをもって、令和7年度第1回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会を終了する。